

# 1 本校のOJT

- 『児童も先生も楽しい学校』を合い言葉に、「チーム力の向上を目指し、みんなで楽しく学び合い、様々な課題を解決し、教育目標の具現化を図るもの」と位置付ける。
- チーム力と教師の力量の向上を目指し、以下の4つの観点を基軸として推進する。
  - ・教育課程の趣旨を踏まえ、実践的に研究する。
  - ・学習指導の技術を磨き、指導の効果を高めるため、実践研修を設定する。
  - ・職員の希望を取り入れ、得意分野の指導法の紹介や研修の伝講などの場を設定し、学び合う。
  - ・教職員の健康、児童の指導等に明るい態度で臨めるようレクリエーションを設定する。

## ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは**研究主任**。
- 5月の研究全体会后に、研修希望調査を行い、計画を立てる。  
研修内容として次の7つの内容を柱に設定し、本校OJTをスタートさせる。
  - ・校内研究・・・ 全員授業で学び合い。(生活科・総合的な学習の時間)
  - ・一緒にフレ研・・・フレッシュ先生と一緒に教科主任から学ぶ。
  - ・ICT関係・・・ 使用法や利用法の未知の分野について教え合う。
  - ・p4c関係・・・ ハワイから来校された先生、ハワイへ視察に行った先生から学ぶ。  
みんなで実践し合う。
  - ・研修希望から・・・凶工の指導、縄跳び、表現運動、茂庭台フィールドワーク  
レクリエーション、料理対決 など。
  - ・伝講関係・・・ 研修会、研究会などの伝講
  - ・その他の研修・・・Q-U分析、ハートスキルプログラムの指導計画、  
カウンセラー研修、漫才披露 など。
- 講師役を決め、**全員参加型**と**希望参加型**に分け、全職員に提案し、活動を開始する。
- 一学期終了時に、「OJT振り返りシート」に感想や意見・希望などを記入してもらう。  
「新たに取り入れたいOJTの活動」に関しては、二学期に実施できるように計画を立てて実践する。

## 学び合いの意識化

- 「**学年会**」と「**授業づくり**」を核として、**日常的に学び合うことがOJT**であることを共通理解し、進めていく。
- 毎月の運営部会で、OJT研修の計画や実践について話題にし、職員のニーズをとらえ、必要な研修を実施するという方向性を確認して進める。
- OJT実施後に感想を述べ合うとともに、振り返りシートに記入してもらい、可視化することにより、相互評価の場として、学び合う意識を高め、次に生かす。